

日本 MRS 国際会議ご協力依頼の件

謹啓 残暑の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より日本 MRS の活動に多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。このたび、日本 MRS は下記のとおり国際会議を開催することになりました。つきましては、本国際会議の開催に格別のご理解を賜り、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 国際会議の名称

日本 MRS 創立 30 周年記念国際会議 英語名称：Materials Research Meeting 2019 (MRM2019)

2. 国際会議の概要及び目的

日本 MRS は 1989 年に創設以来、「新しい材料の研究開発には、従来の金属・有機・無機材料、あるいは構造・機能材料といった材質・用途別の既成概念を超えて、横断的、学際的にあらゆる分野の専門家が連携協力することが有効である」との考えに立って活動して参りました。このユニークな材料研究の分野横断的な活動は、年々その重要性が増し、2013 年に一般社団法人化したしました。近年、地球規模の環境問題が顕在化し、先進国の持続可能社会への転換や発展途上国の急激な経済成長など人類活動のグローバル化が加速しております。一方、日本の材料研究は世界をリードし、製造業を支えてきましたが、その優位性が大きく揺らぎつつあります。このような状況下で、材料科学・技術を持続可能な社会の構築に役立てるために、さまざまな材料およびその関連分野の研究者の共同作業によって、先進材料研究のイノベーションの成果を速やかに社会に還元することが強く求められています。

2019 年に日本 MRS は創設から 30 年を迎えるにあたり、これまで日本にない新しい材料研究の成果報告と討論の場として、標記国際会議を開催することになりました。本国際会議は、分野横断的なハイレベルな討論の場を提供し、研究成果・データ等を共有財産として材料科学・工学の発展に寄与することを目的といたします。また、併せて日本発の分野横断型の材料関係のまとまった国際会議に発展させたいという希望を持っております。そのために、材料科学・素材開発・加工技術・応用技術の各分野から、産官学の研究者・技術者、広くこの分野でビジネスを展開する企業人、さらに国と地方の政策担当者に参加を呼びかけ、伝統的な分野を超えて横串の視点からの材料に関する問題からテーマをタイムリーに取り上げて討論する場といたします。つきましては、是非ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3. ご支援の種類と内容

シンポジウムの立上げ、ご関連学協会会員への参加の呼びかけ、企業への協賛依頼、等尚、シンポジウムの立ち上げにつきましては下記の点にご留意くださるようお願い申し上げます。

- 1) オーガナイザーの構成は国際的なものとし、原則半数は海外からの研究者とする。
- 2) 外部資金によるプロジェクト (PJ) を母体にする場合、PJ の主題をシンポジウムの題名にしても差し支えないが、PJ 以外からも広く参加できるようにして頂くため、PJ の発表会 (成果報告会) とはしないでください。ただし、シンポジウムの共催とすることは差し支えありません。
- 3) シンポジウムの採択と開催日・枠は実行委員会にご一任ください。類似の提案がありましたら、合同で実施していただくこともございます。
- 4) 採択されたシンポジウムには、シンポジウムの規模 (講演数) に応じてある程度の補助金を分配いたします (詳細は実行委員会にてご説明いたします)。
- 5) 採択されたシンポジウムが、他の財団や企業などからの支援を受けることは差し支えありません。ただし、その資金管理は一括して事務局が行い、そのための事務経費を若干いただきます。
- 6) 採択されたシンポジウムのプログラム編成は、オーガナイザーに原則一任いたします。

4. 国際会議の主催者、期日及び場所

主催：一般社団法人 日本 MRS

日時：2019 年 12 月 10 日 (火) pm~12 月 14 日 (土) am

場所：横浜シンポジア (横浜市中区山下町 2 番地 産業貿易センタービル)、他

5. 本件に関する問い合わせ先

一般社団法人 日本 MRS 内 **日本 MRS 国際会議** 事務局長 鈴木淳史 asuzuki@ynu.ac.jp